

BUSINESS REPORT

第6期 株主通信
2023年1月1日～2023年12月31日

公式SNSアカウントでも情報発信中！



証券コード：4392

代表挨拶

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

現在、中期経営計画(FY2022-2024)を進行中であり、基盤事業(IoT×SaaS)の拡大と成長事業(ペイメントとロボット)への積極投資をグループの事業戦略に各種施策を実施しております。

2023年度は、主力のモビリティ関連サービスを中心に基盤事業(IoT×SaaS)が拡大するとともに、ペイメントにおいてはセンター集約型のABT方式(Account Based Ticketing)の新サービス拡充をすすめてきました。

また、最も注力する成長事業として位置付けているロボットでは、搬送ロボットの技術開発をすすめるとともに、大手の半導体メーカーや自動車メーカーの製造現場にAGV・AMR(搬送ロボット)の導入をするなど、まだ投資フェーズではあるものの、ロボット事業は着実に進展しております。

2023年度の売上高は13,534百万円(前年同期比4.8%増)、営業利益は723百万円(同22.4%減)、経常利益は715百万円(同25.8%減)となりました。また、特別利益に投資有価証券売却益70百万円を計上する一方、特別損失に投資有価証券評価損300百万円等を計上したため、親会社株主に帰属する当期純利益は210百万円(同69.4%減)となりました。売上高は過去最高を更新、営業利益は前期と比べて大型案件のフロー売上高減少の影響により減益となったものの、過去二番目の成績となりました。

2024年度は、売上高と利益面ともに過去最高の更新を目指してまいります。

当社グループは、持続的な成長を実現するため、事業ポートフォリオの最適化に取り組むとともに、経営資源を



代表取締役社長 村井 雄司

コア事業と成長投資に集中させます。

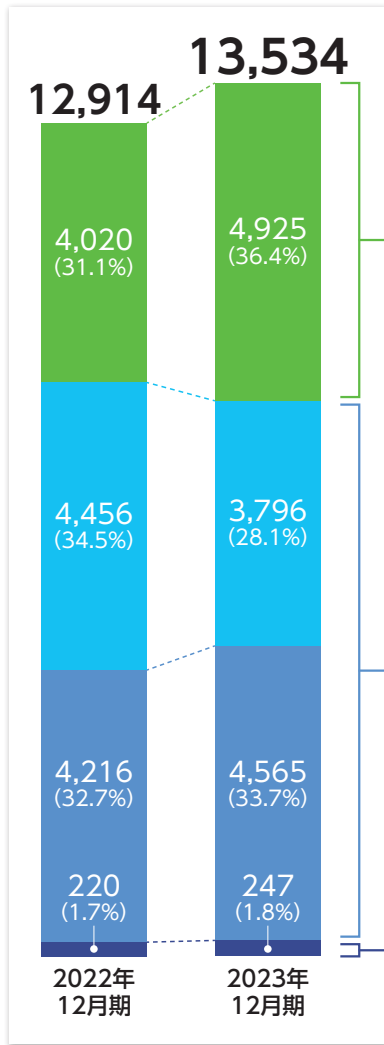
そして、次期中期経営計画に向けた成長ドライバーはロボット事業であり、国内を代表する搬送ロボットメーカーを目指しています。

ロボットへのチャレンジは、技術的には試行錯誤を繰り返し、グループや組織体制も変化させ、ようやく搬送ロボットの市場に本格的に参入することができました。工場や倉庫などをメインターゲットにした棚搬送ロボットでは、純国産メーカーNo.1を目指しています。

ロボットとIoTの技術の融合が進むことでロボットの活用領域も広がり、人手不足の解消や人の作業の効率化により社会課題を解決し、人とロボットが共生する社会を目指していきます。

株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援を賜りますよう何卒宜しくお願い申し上げます。

売上区分別実績(百万円)



マシン

売上高 **4,925**百万円 営業利益 **534**百万円

当期は、将来の中核事業とすべく搬送ロボットの本格的な製造を進めており、目標としていた売上高約10億円を達成することができました。また、搬送ロボットと周辺設備や装置の連携など、提案営業の強化をすすめております。この結果、外部顧客への売上高は、4,925百万円(前年同期比22.5%増)、営業利益は534百万円(同105.7%増)となりました。

IoT

売上高 **8,361**百万円 営業利益 **1,181**百万円

フロービジネス

売上高 **3,796**百万円

サブスク

売上高 **4,565**百万円

前期に比べ大型案件のフロー売上高が減少した影響等により減収減益となりましたが、主力のモビリティ関連サービスは堅調に推移しました。サブスク売上高は、ホテルマルチメディアと通話録音が苦戦したものの、モビリティ関連サービスがカバーすることで拡大しております。

この結果、外部顧客への売上高は、8,361百万円(前年同期比3.6%減)、営業利益は1,181百万円(同16.2%減)となりました。

スマートシティ

売上高 **247**百万円 営業利益 **116**百万円

サブスク

スマートシティは、主にマンション等の不動産賃貸事業であり、前連結会計年度より賃貸事業を開始しております。

この結果、外部顧客への売上高は247百万円(前年同期比12.0%増)、営業利益は116百万円(同0.9%増)となりました。

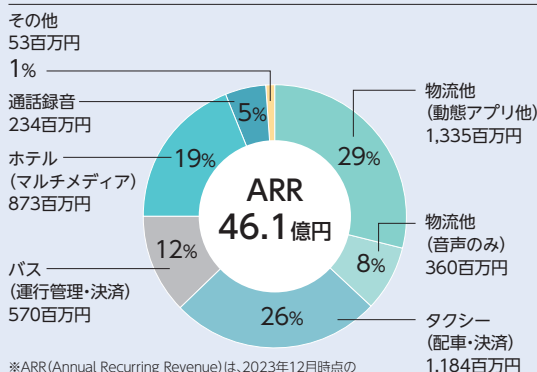
TOPICS | IoT×SaaS事業(サブスク売上高の推移)

収益基盤であるサブスク売上高では、一部サービスのARRが前年比でマイナスとなり苦戦したものの、モビリティ関連(物流他、タクシー、バス、支払い)は好調でYoY+14.7%と伸ばしました。

IP無線は、リプレイス需要や周波数再編で自営系デジタル

無線からの買替需要により回線を大きく伸ばすチャンスであり、モビリティ分野だけでなく、防災分野などにも積極的に展開しています。モビリティ分野では、物流・タクシー・バスともに人手不足という社会課題の解決に向けたソリューションを展開します。

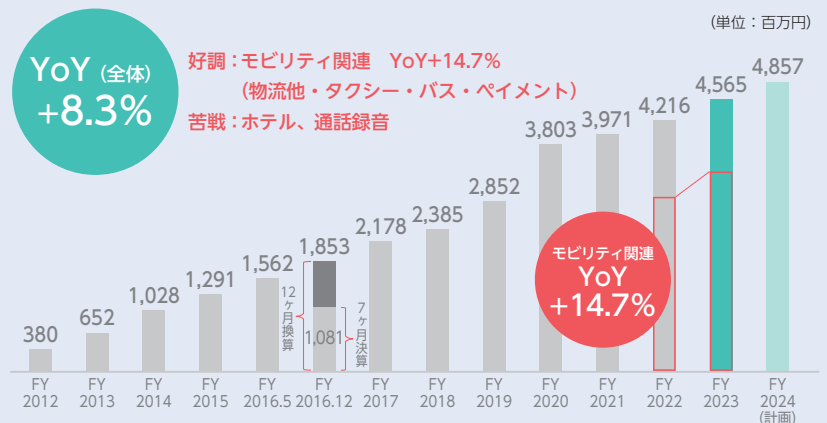
サブスク売上高の内訳 (2023年12月時点)



※ARR(Annual Recurring Revenue)は、2023年12月時点のMRR(Monthly Recurring Revenue)を12倍にして算出。

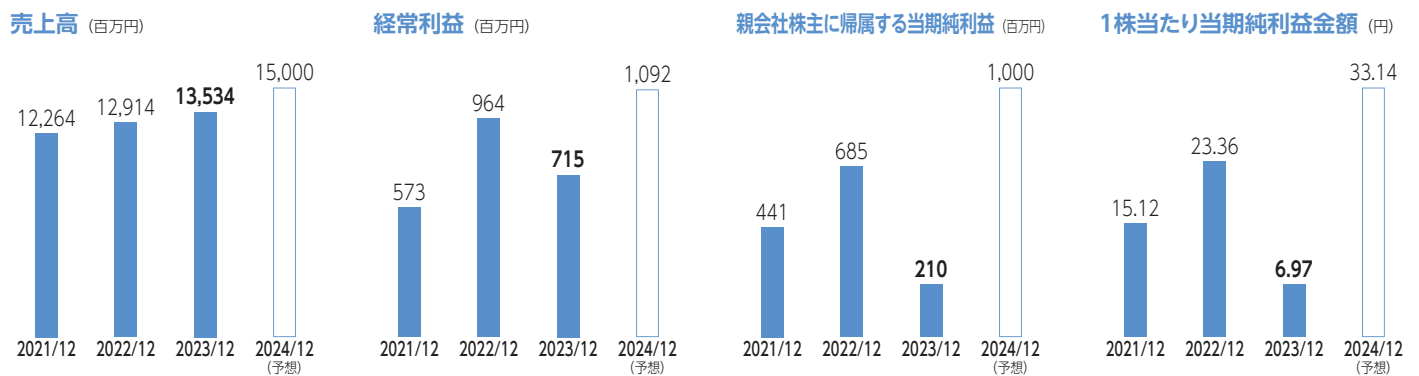
YoY(全体) **+8.3%**

好調:モビリティ関連 YoY+14.7%
(物流他・タクシー・バス・支払い)
苦戦:ホテル、通話録音



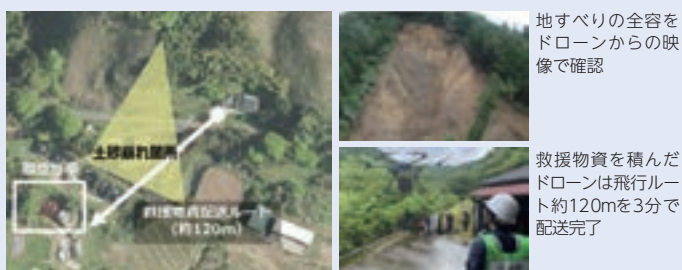
※スマートシティは売却のため実績より除外しています

	2021/12	2022/12	2023/12
業績データ(百万円)			
売上高	12,264	12,914	13,534
経常利益または損失(△)	573	964	715
親会社株主に帰属する当期純利益	441	685	210
財務データ(百万円)			
総資産	18,971	21,463	22,835
流動資産	9,846	14,058	15,215
固定資産	9,125	7,405	7,620
負債	10,093	11,754	13,240
流動負債	7,068	5,803	6,645
固定負債	3,024	5,951	6,595
純資産	8,878	9,709	9,595
キャッシュ・フロー(百万円)			
営業活動によるキャッシュ・フロー	63	359	△578
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,523	△1,848	△838
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,513	1,291	1,430
現金及び現金同等物の期末残高	2,376	2,185	2,202
1株当たりデータ(円)			
1株当たり純資産額	298.42	318.35	313.31
1株当たり当期純利益金額	15.12	23.36	6.97



TOPICS 2 県内災害現場にてドローンを機体提供し緊急被災状況調査・救援物資配送を実施

2023年6月に大分県内で大雨による大規模な地すべりが起き、孤立世帯が発生しました。この災害に際して、当社グループのciRobotics株式会社がドローンの機体提供を行い、雨で防災ヘリが出動できない中、ドローンによる緊急被災状況調査と孤立世帯への救援物資配送が実施されました。大分県内での実災害でのドローンによる救援物資配送は初めてであり、県内事業者のみで救援物資配送を行ったり発災直後に対応した事例としては全国初(大分県調べ)となります。当社グループは今後も安心・安全なドローン技術の発展と社会活用を目指してまいります。



出典：国土地理院ウェブサイト 地図・空中写真閲覧サービス (<https://maps.gsi.go.jp/maplibSearch.do#1>) 上記から取得した画像をもとにFIG株式会社作成

TOPICS 3 「2023国際ロボット展」出展と搬送用ロボット稼働開始のご報告

2023年11月29日～12月2日に東京で開催された「2023国際ロボット展」に、当社グループのciRobotics株式会社がTechman Robot社と共同出展いたしました。自社開発のAMR(自律走行ロボット) WILL FAモデルとTechman Robot社の協働ロボットを組み合わせたモバイルマニピュレータの展示・デモンストレーションを実施し、大変ご好評いただきました。



株式会社匠との提携によるAGVと自社開発のAMRによる搬送ロボットのラインナップ拡充により、FA・自動化向け(工場・倉庫)をメインターゲットに自動車メーカーや半導体メーカーなどを中心として顧客基盤を拡大し、国内を代表する搬送ロボットメーカーを目指してまいります。

ウェブサイトリニューアルのご案内

2023年9月にホームページをリニューアルし、会社紹介インフォグラフィックや、日々の活動をご紹介する「PICK UP!」ページなど新機能を追加しました。ぜひご覧ください。

<https://www.figinc.jp/>



会社概要 (2023年12月31日現在)

商号 FIG株式会社
(英文) Future Innovation Group, Inc.
本社 〒870-0823 大分市東大道二丁目5番60号
TEL.097-576-8730 (大代表)

代表取締役 村井 雄司
会社設立 2018年7月2日
資本金 2,044百万円
事業内容 子会社等の経営管理及びそれに付帯または関連する業務

グループの事業セグメント IoT事業、マシーン事業、スマートシティ事業
グループ従業員数 718名(連結)
上場市場 東京証券取引所プライム市場
福岡証券取引所本則市場

グループ会社
モバイルクリエイト株式会社
REALIZE株式会社
株式会社ケイティーエス
ciRobotics株式会社
株式会社オプトエスピー
株式会社プライムキャスト
株式会社CAOS
沖縄モバイルクリエイト株式会社
株式会社トラン
株式会社M.R.L
Mobile Create USA, Inc.
InfoTrack Telematics Pte. Ltd.
InfoTrack Telematics Pvt. Ltd.
THAI K.T.R Co.,Ltd.

※2023年1月1日付で、株式会社石井工作研究所はREALIZE株式会社に商号変更しております。

役員 (2024年3月26日現在)

代表取締役社長 村井 雄司 取締役(常勤監査等委員) 佐藤 一彦
取締役 岐部 和久 取締役(監査等委員) 山田 耕司
取締役 阿知波 孝典 取締役(監査等委員) 渡邊 定義
取締役(監査等委員) 大呂 紗智子

株主メモ

上場市場 東京証券取引所プライム市場
福岡証券取引所本則市場
証券コード 4392
1単元の株式数 100株
事業年度 毎年1月1日から12月31日までの1年
定時株主総会 毎事業年度終了後3ヶ月以内
基準日 12月31日
株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

株式の状況 (2023年12月31日現在)

発行可能株式総数 70,000,000株
発行済株式の総数 31,393,015株
株主数 16,130名

大株主 (2023年12月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
イノベーション株式会社	6,547	21.69
フューチャー株式会社	1,680	5.56
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,043	3.45
FIG従業員持株会	1,032	3.42
株式会社大分銀行	600	1.98
財産計算センター合同会社	460	1.52
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	435	1.44
株式会社インターネットイニシアティブ	400	1.32
第一交通産業株式会社	400	1.32
青木義行	400	1.32

(注) 上記の持株数は千株未満を切り捨てて記載しております。

株式分布状況 (2023年12月31日現在)

所有者別所有株式数割合



所有数別株主数割合



同連絡先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
TEL: 0120-782-031 (通話料無料)

電子公告により行う。
ただし電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行う。

公告掲載方法 公告掲載URL <http://www.figinc.jp/>

株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の
お手続きが必要となります。
速やかにお取引の証券会社等へお届けください。

株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められた通り、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、
税務署へ提出いたします。

- [主な支払調書] ●配当金に関する支払調書
●単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書